

広報 あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2024

3

令和6年3月1日

No.724

その先の‘はなわ’へ



特集

地域の価値が高まる自転車振興
ふくしま森林再生事業
第16回B&G全国サミット
全酪アカデミー、新規就農第2号が誕生
埴町の街並みを再現

未来に向かかって走る

地域の価値が高まる自転車振興



平成30年11月に
第1回ツール・ド・ふくしまの最終レース
として開催されたツール・ド・はなわ
普段、何気なく通っていた道が
サイクリストたちの‘熱い’
闘いの場へと生まれ変わった
その熱気は、はなわから東白川全体へと広がり、
令和元年に奥久慈街道が生まれた
それから、この地域に新たな価値を創り出し、
多くのサイクリストを魅了し続けている
今回、その軌跡を名場面とともに振り返る

地域の価値が高まる自転車振興

埴町では、平成30年から始まった福島県の公道を自転車ロードレースで結ぶ『ツール・ド・ふくしま』の最終レースとして開催された『ツール・ド・はなわ』がきっかけとなり、自転車を活用した地域振興に取り組み始めました。

令和元年度からは、地域振興に加えて、長年の課題であった3桁国道の整備をはじめ、郡内の道路整備を目的とし、東白川郡4町村が連携した協議会『東白川地方自転車活用推進協議会』が設立されました。

同年、東白川地方自転車活用推進計画を策定し、県を通じて、国土交通省へ提出しました。同計画の一環として策定された4町村を巡る自転車のコース「奥久慈街道」は、同省によって、福島県で初めて自転車モデルルートに、認定されました。

走行環境改善に向けた取り組み

令和3年度からは、国・県によって奥久慈街道周辺の整備計画が進められています。

同計画によって、久慈川サイクリングロードはじめ、奥久慈街道を中心に路面の張り替え、看板の設置、矢羽根型路面標示(※)の表示が行われました。

令和5年度には2カ所の休憩所の整備、令和6年度には3カ所に休憩所の整備も行われる予定です。

令和6年度中には、走行環境の改善に向けて、新しい東白川地方自転車活用推進計画を策定予定です。



(単位：百万円)

奥久慈街道整備計画		R3				R4				R5				R6				R7				
工種	予算	数量	単位	内容	費用	数量	単位	内容	費用	数量	単位	内容	費用	数量	単位	内容	費用	数量	単位	内容	費用	
舗装補修・更新	特源交付金	3.7		舗装更新	43	2.0		舗装更新	77	1.2		舗装更新	59	1.0		舗装更新	55	1.0		舗装更新	55	
	河川海岸改良	4.4		堤防補強	158	5.3		堤防補強	237	1.2		堤防補強	37									
	道路橋りょう維持	1.9		舗装補修	20	0.0		舗装補修	0	0.0		舗装補修	0									
	道路橋りょう改良(交安)	2.6	km	舗装補修	100		km				km				km				km			
	交付金(地活)				5.0			舗装補修	80													
元気ふくしま地域づくり交流促進事業				1.2			舗装補修	25														
標識	道路橋りょう改良(交安)	38	基	看板	12	0	基	看板	0	0	基	看板	0	0	基	看板	0	0	基	看板	0	
	特源交付金	19	基	案内看板	9																	
急カーブ解消	特源交付金				6	基	看板	2.5	18	基	看板	1.9										
	交通安全予算				3	箇所	調査設計	10	3	箇所	調査設計	10	3	箇所	調査設計	10	1.6	km	路肩拡幅	800		
休憩所	道路橋りょう改良(交安)	0	箇所	更新	0																	
	地域づくり(交付)				5	箇所	設計	16	2	箇所	更新	62	3	箇所	更新	160						
	まち課予算				2	箇所	更新	60														
路面標示	道路橋りょう改良(交安)	221	箇所	矢羽	2.3	0	箇所	矢羽	0													
	特源交付金								24	箇所	矢羽	0.1										

※矢羽根型路面標示とは、自転車の通行位置と方向を明示して、自転車の安全な通行を促すもの





6年間の歩み

平成30年	11月	ツール・ド・はなわ2018開催
令和元年	6月	三角形の道が、ランナースインフォメーション研究所認定のサイクリングコースに選出
	8月	埴町サイクルツーリズム推進協議会設立
	10月	東白川地方自転車活用推進協議会設立
令和2年	11月	ツール・ド・はなわ2019開催 ポタリングはなわ2019開催
	3月	東白川地方自転車活用推進計画の策定 奥久慈街道が国土交通省認定自転車モデルルートへ認定
	9月	奥久慈街道が、ランナースインフォメーション研究所認定のサイクリングコースに選出
	10月	ツール・ド・はなわ2020開催
	11月	ポタリングはなわ2020開催
令和3年	3月	東白川地方ネットワーク計画の策定
	4月	アウトドア大手モンベルとの連携を始める
令和4年	11月	奥久慈サイクリング開催 ポタリングはなわ2021開催
	3月	ツール・ド・はなわ2021開催
	9月	サイクルロゲイニング in 奥久慈2022
	10月	ツール・ド・はなわ2022開催
令和5年	11月	ポタリングはなわ2022開催
	8月	プロサイクリングチーム埼玉サンブレイブ合宿誘致 奥久慈街道サイクリング開催
	10月	JR 東日本のイベントに参加。駅からサイクリング in 奥久慈街道2023開催
	11月	水郡線サイクリングを賞し切りイベント開催 ポタリングはなわ2023開催

『ナショナルサイクルルート』への認定です。同ルートは日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートです。認定は、同会の設立時からの目標は、また、地域内にサイクルレーンが通常運行されているところを含めると、全国で同じような条件のところはありません。

東白川自転車活用推進協議会は埴町が設立時から埴町が事務局となり、運営しています。複数の自治体が連携した協議会において、自転車活用推進計画を策定し、自転車モデルルートに認定された地域は全国でも2カ所しかありません。

定には、様々な要件がありますが、認定されれば、道路環境整備はじめ、近隣地域との連携、サイクリストはじめ観光客の誘致など大きな経済効果が見込まれます。

前提条件は自転車モデルルートに登録されていることです。埴町は前述の通り『奥久慈街道』がモデルルートに登録されています。福島県内のモデルルートは、令和6年3月現在、もう一地域しか登録されていないため、他地域よりも有利な状況です。登録に至る道のりは容易ではありませんが、地域の皆さんのご理解と協力をいただきながら、夢に向かって走り続けます。

次のステージを目指して

東白川地方自転車活用推進協議会
 設立：令和元年10月8日設立
 会長：宮田秀利(埴町長)
 アドバイザー：千葉学東京大学教授
 構成団体：県関連団体 棚倉町 矢祭町 埴町 鮫川村 民間事業者
 活動目的：自転車活用推進を通じて、東白川地方の地域振興を推進する



千葉学東京大学教授



水郡線をつなぐ

東白川地方自転車活用推進協議会は、白石氏の遺志を引き継ぎ、同社と連携しながら、『水郡線未来へつなぐ』ために様々な施策をおこなっていきます。

4月からは2回目となる『駅からサイクリング in 奥久慈街道』を開催します。

この日は、水郡線を貸し切り、30人のサイクリストが水戸駅から矢祭山駅に向かい、久慈川サイクリングロードを走り、磐城棚倉駅から水戸駅に戻るサイクリングイベントが開催されました。水戸駅ホームでは、小森修水戸駅長はじめ、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社の皆さんがお見送りをしてくださいました。

水郡線は、白石禎美氏(埴町)が明治時代に地域振興のためにと路線誘致を呼びかけたのを機に1934年に全線開通し、今年90周年を迎えます。

しかし、近年は採算割れが続いています。

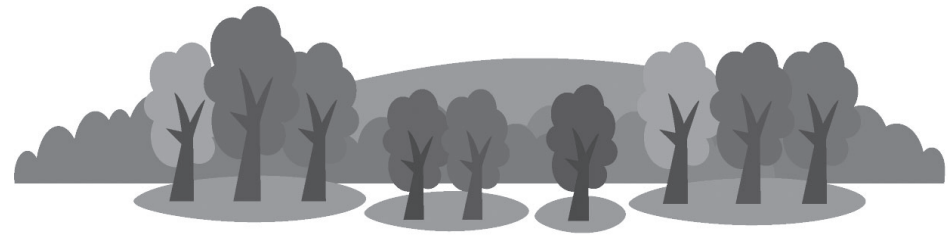
地域の将来を考えると水郡線は大切な地域の足であり、かけがえないものです。

地域の足を守る

森林整備や木材利用促進を推進するために

ふくしま森林再生事業

福島県の森林・林業の再生に向けて、関係省庁が連携し、生活環境の安全・安心の確保、住居周辺の里山の再生、奥山等の林業再生に向けた取組及び調査研究等の将来に向けた取組並びに情報発信とコミュニケーションなどを行っています。



森林施業に伴う空間線量率の変化

放射性物質の濃度等の計測



間伐・作業道設置・木材搬出・空間線量率測定

森林所有者の同意取得・森林の測量・計画策定

埴町では、平成26年度よりふくしま森林再生事業を取り組んでいるところです。ふくしま森林再生事業は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響により林業生産活動が停滞し、森林の荒廃や林業・木材産業への影響が懸念されるため、森林所有者に代わり森林整備や木材利用促進を推進するとともに森林内の放射性物質の低減を図ることを目的とした事業です。

埴町は、埴町ふくしま森林再生事業推進基本方針に基づき、主に10ヘクタール以上のまとまった森林を優先的に事業実施してきました。

森林整備は、準備として、森林の状況調査を行い、作業道の設置、放射線の測定など計画を作成し、それに基づき、山林所有者の同意を得て、間伐が停滞している山林の概ね3割を間伐します。

令和3年度より福島県のふくしま森林再生事業基本方針の変更に伴い、空間線量が0・1マイクロシーベルト以上の地区が事業対象とされたため、埴町の事業実施箇所が限定されることとなりました。しかしながら、森林所有者のご協力により、概ね年間100ヘクタールを実施することができました。



ふくしま森林再生事業・森林整備実施状況

年度	地区名	整備面積	事業費(円)	年度	地区名	整備面積	事業費(円)
27	大 蕨 区	24.68ha	50,010,480	2	東 河 内 1 区	40.16ha	67,419,000
年度合計		24.68ha	50,010,480		田 代 区	29.24ha	51,920,000
28	大 蕨 区	32.00ha	69,210,720		湯 岐 区	30.05ha	44,550,000
	田 代 区	23.09ha	52,219,080		植 田 区	6.12ha	11,550,000
年度合計		55.09ha	121,429,800	上 渋 井 区	5.50ha	7,150,000	
29	田 代 区	10.24ha	16,308,000	年度合計	111.07ha	182,589,000	
	湯 岐 財 産 区	35.17ha	61,013,520	3	東河内1・2区	12.07ha	16,830,000
	木野反財産区	22.30ha	30,689,280		真 名 畑 区	28.80ha	50,200,700
	大 蕨 区	41.75ha	61,452,000		山 形 区	13.83ha	24,035,000
	東 河 内 2 区	29.19ha	43,686,000		片 貝 区	25.71ha	53,201,500
年度合計	138.65ha	213,148,800	台 宿 区		29.37ha	49,258,000	
30	東 河 内 2 区	37.40ha	48,600,000	田 代 区	17.66ha	26,587,000	
	那 倉 区	7.60ha	10,152,000	東 河 内 区	2.32ha	10,670,000	
	稲 沢 区	37.51ha	62,640,000	年度合計	129.76ha	230,782,200	
	八 幡 区	21.66ha	38,014,920	4	那 倉 区	16.47ha	26,444,000
	板 庭 区	32.00ha	39,718,080		水 元 区	14.73ha	29,299,600
年度合計	136.17ha	199,125,000	東河内1・2区		22.43ha	30,146,600	
令和元	東 河 内 2	21.53ha	29,592,000		田 代 区	30.71ha	75,065,100
	植 田 区	33.00ha	50,544,000	年度合計	84.34ha	160,955,300	
	田 代 区	11.05ha	17,334,000	5	水 元 区	10.34ha	22,432,300
	片 貝 区	17.16ha	22,969,440		東 河 内 1 区	10.12ha	17,938,800
	常世中野区	6.90ha	9,361,440		真 名 畑 区	16.43ha	26,405,500
年度合計	89.64ha	129,800,880	稲 沢 区		13.00ha	29,599,900	
				田 代 区	16.77ha	24,695,000	
				年度合計	66.66ha	121,071,500	

町主体の森林整備：放射性物質の影響等により整備が進みがたい人工林等において町主体による間伐等を実施



森林整備を通じた移動抑制対策：間伐による土砂移動抑制効果の検証(放射性セシウムの拡散を抑制)



最優良の評価を得る B&G全国サミットで表彰



前田康吉 B&G財団会長(左)から表彰される宮田町長(右)



全国の10センターが特A評価を獲得し表彰されました

1月23日(火)、ベルサール汐留(東京都中央区)で「魅力UPで地域活性化!」と関係人口UPのために海洋センターができること」をテーマに第16回B&G全国サミットが開催されました。

令和6年能登半島地震の災害支援や全国の海洋センターを活用した関係人口増加の取り組みの事例発表などがありました。

宮田町は、優良海洋センターと認められ、10年連続特A評価を獲得し、表彰されました。6段階の最優良である特A評価とは、2022年度の海洋センターの運営状況と活動から利用人数・事業開催状況・施設の維持管理が評価されたものです。これは全国の海洋センターの中で特に優れた管

理・運営事業を行っているという事です。

宮田町長は「海洋センターだけでなく、「子ども第三の居場所(はなまるはうす)」、「防災拠点の指定による防災機器の配備等」の開設・整備など多方面でのB&G財団の指導・支援に感謝します。今後も子どもや地域を守るため幅広い地域貢献をしていきます」と喜びのコメントをしました。

また、特A評価を獲得した自治体は、紹介ブースが設置でき、町をPRし、観光名所の紹介、特産のこんにやく製品の配布、町の花であるダリアを紹介しました。全国の自治体職員や関係者の皆さんと交流し、情報交換をしました。

今年度の宮田町B&G海洋センターの活動はプール運営だけでなく、中学生と白河実業高校校舎の生徒で磐城駅前前の海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動や小学生向けの水辺の安全教室などを開催しました。

また、同財団からの助成事業「ふるさとゆかりの偉人マンガの製作と活用事業」では、町の礎を築いた白石禎美氏の偉業をたたえる漫画を作成しており、3月末に完成予定で、小中学生などに配付します。



ダリアの町「はなわ」をPR



町を紹介したPRブース



塙のお菓子をどうぞ



マナビイはなわ

生涯学習だより 3月号

子育て講座『なかよしルーム』 第10回講座「チョコを使ったスイーツ作り」

2月9日(金) 塙町公民館で子育て講座「なかよしルーム」を開催し、「チョコを使ったスイーツ作り」をしました。

「なかよしルーム」は保護者や子ども同士が交流を深め、子育てや家庭教育の情報交換や子育ての不安を相談できる場所づくりを目的に開催しています。この日は5家族10人が参加しました。

トにラスクをからめたり、ラスク以外にも柿の種やビスケット、イチゴにもチョコをからめて、トッピングして可愛らしい飾り付けをして食べました。

参加者同士、仲良く遊んだり、話をしながら終始和やかな雰囲気でした。バレンタインデーを楽しみました。

問い合わせ先
生涯学習課 ☎(43)2644



みんなで楽しく活動できました



飾りつけ中



2人で共同作業



★はなわスポーツクラブ通信★

真冬の熱い闘い 室内グラウンド・ゴルフ大会

2月14日(水)、「第14回塙町B&G海洋センター・はなわスポーツクラブ 室内グラウンド・ゴルフ大会」を町営体育館アリーナで開催しました。ゲームは8ホールを2回周り、打数が少ない人から上位が決まります。

44人のグラウンド・ゴルフ愛好者の皆さんが上位入賞を目指し、楽しい雰囲気ながらも真剣にボールを打ち合い日ごろの練習の成果を発揮しました。

- 優勝 福島富美子さん(大町) スコア29打
- 準優勝 戸井田ケイ子さん(台宿) スコア39打
- 第3位 藤田 ヨシさん(桜木町) スコア40打



福島富美子さん

ホールインワン3回達成で優勝
優勝できると思っていませんでした。調子はいつも通りでしたが、ホールインワンが3回もできて、びっくりしています。



集中して2打目



ホールインワンを狙います



目指せカップイン

★NPO法人はなわスポーツクラブ★

塙町大字塙字桜木町80(塙町営体育館内)

メール hanawa.fcs@gmail.com ホームページ <http://hanawa-fcs.jp> ☎ 57-6589 FAX 57-6587

3月は自殺対策強化月間です

1. つらい悩みを抱え続けていると、助けを求めづらい

3月は進学、就職、引越し、職場内の異動などで、家庭や社会環境が大きく変化しやすい季節です。ここに余裕が無くなると、不安や焦りで考えがまとまらなくなったり、頭痛や不眠など体に症状が出てしまうことがあります。

2. あなたの声かけで救われる人がいるかもいれません

気になる人がいたらまずは声をかけてみましょう。『頑張ろうよ』などの励ましはさらに相手を追い込みます。『最近どう?』、『眠れてる?』、『食欲落ちてない?』など体調面を聞いてみましょう。『苦しかったね』と、ねぎらうことが重要です。



3. こころの健康相談を実施しています

■問い合わせ先 健康福祉課 健康推進係 ☎43-2115



はなまるはうすで節分行事

2月2日(金)に「はなまるはうす」では、節分行事として「おやつに豆のお菓子が出され、夕食時に子どもたちは自分たちで手巻きした恵方巻を食べて過ごしました。スタッフから節分について、クイズ形式の説明がありました。『どうして鬼を追い払うのか?』『なぜ豆を投げたのか?』『終と鰯が魔除けになる理由は?』など、子どもたちは初めて聞く話もあり、興味津々でクイズに答えていました。この日は11人の子どもたちが参加し、子どもたちからは「勉強が強くなった」「クイズが面白かった」という感想が聞かれました。「はなまるはうす」ではこれからも季節に応じたイベントや食事を通して、子どもたちの好奇心や社会性を育んでいきます。

■問い合わせ先 埴町教育委員会 学校教育課子ども支援室 ☎43-4050 / FAX 43-1883

インターネットの危険から子どもたちを守ろう!

県内の児童生徒が SNS で知り合った相手に会いに行き、そのまま行方不明になってしまうなどの事案が発生しています。先日、小・中学校には警察庁・文部科学省や法務省から注意喚起を促すためのチラシを配布しました。

犯罪に巻き込まれないために

- ・インターネットで知り合った人とは会わない。
- ・個人情報をお教えしない。
- ・写真・動画を送らない。

これらを守って、お子さんが安心してインターネットを利用するためにご家庭でも、SNSの危険性について十分に話し合い、犯罪や事件に巻き込まれないよう気を付けていきましょう。

一人で悩まないで! まず相談!

▼性被害に悩んでいる、話を聞いてほしいときの相談窓口 (民間団体)	
●NPO法人ぱっぷす (受付時間: 24時間365日いつでも)	
☎050-3177-5432 (匿名可)	■メールによる相談 paps@paps-jp.org ■ウェブサイト https://www.paps.jp/
▼困ったときの相談窓口 (行政機関)	
●ぴったり相談窓口 こども向け https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/annai/	●24時間子供 SOS ダイヤル こども向け ☎0120-0-78310 (電話料無料)
●警察相談専用電話 ☎ # 9110 (全国共通)	●性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター ☎ #8891 (全国共通)

図書館からのお知らせ

新刊案内



「縁結び代官 寺西封元」
とばしあきひろ 土橋章宏 / 著 KADOKAWA

●内容
江戸幕府の命で陸奥国白川郡埴の代官となった寺西封元。貧困に苦しむ農民のために、自らの半生を捧げた名代官の知られざる感動の物語です。



「はるのクリスマス」
ティエリー・デデュー / 作
やまもと みき / 訳
化学同人

●ものがたり
ふくろう、こまどり、のねずみ、はりねずみ、りすはいつも一緒に大の仲良しです。でも11月になると楽しい空気は一変してみんな悲しそうです。でも大丈夫。こまどりがとてもいいことを思いつきました。それは・・・。

【図書館の開館・休館情報3月】
●開館時間 火曜日から土曜日・・・午前10時から午後7時まで
日曜日・祝日・・・午前10時から午後5時まで
●休館日 4日(月)、11日(月)、18日(月)
21日(木)、25日(月)

3月のテーマ
ともだちの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。その中から一冊の本を紹介いたします。
なお、読みたい本が貸出し中の場合は予約もできます。

情くらしの報の

◆埴町役場の電話番号(代表)
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116
◆町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
◆町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】
総務課 43-2111
町民課 43-2113
健康福祉課 43-2114
(高齢者支援係) 43-2115
地域包括支援センター 43-2224
農林推進課 43-2118
まち振興課 43-2112
まち整備課 43-2117
生活環境課 43-2148
会計室 43-2149
議会事務局 43-2150
農業委員会 43-2119
学校教育課 43-4050
生涯学習課 43-2644
公民館 43-0320
あぶくま高原美術館 42-2510
図書館 43-0808
学校給食センター 43-0188
はなわこども園 57-8700
笹原幼稚園 43-0601
東白衛生組合 43-0378

埴町議会議員一般選挙 投票日3月24日(日)

3月24日(日)は、埴町議会議員一般選挙の投票日です。この選挙は、町民の代表を選出大切な選挙です。一票の重みを再確認し、棄権しないで、必ず投票しましょう。

投票時間 午前8時30分
から午後8時まで
投票場所 埴農村労働福祉会館
(役場北側)

郵便等による不在者投票ができます
身体に重い障がいがあつて、選挙に行けない方が、自宅などから郵送で投票できる郵便等投票(在宅投票)制度があります。郵便投票ができる方は下の表に記載のある手帳等をお持ちの方で各項目の障がい等の程度に該当する方です。

告示日 3月19日(火)
投票日 3月24日(日)
投票時間 午前7時から
午後7時まで
(那倉、片貝投票所
は午後6時まで)
投票場所 町内8カ所
(入場券をご確認ください)

期日前投票をご利用ください
仕事などの理由で、投票当日に投票ができない方のために、期日前投票制度があります。ぜひご利用ください。

期 3月20日(水)から
間 3月23日(土)まで

※郵便等による不在者投票を利用する場合は、あらかじめ「郵便等投票証明書」の申請をし、交付を受ける必要があります。手続きが遅くなると、投票に間に合わなくなりますのでご注意ください。
問い合わせ先
埴町選挙管理委員会
☎(43)2111

障がい等の程度
両下肢、体幹、移動機能の障害の程度が、1級または2級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害の程度が、1級または3級
免疫、肝臓の障害の程度が、1級から3級
両下肢、体幹の障害の程度が、特別項症から第2項症
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害の程度が、特別項症から第3項症
要介護5

手帳等手帳等	障がい等の程度
身体障害者手帳	両下肢、体幹、移動機能の障害の程度が、1級または2級
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害の程度が、1級または3級
	免疫、肝臓の障害の程度が、1級から3級
戦傷病者手帳	両下肢、体幹の障害の程度が、特別項症から第2項症
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害の程度が、特別項症から第3項症
介護保険被保険者証	要介護5

町政報告会を開催しています

開催日	行政区	会場
3月12日(火)	田代	田代分館
3月14日(木)	那倉	那倉分館
3月16日(土)	上石井	上石井分館
3月18日(月)	矢塚・片貝・折籠	片貝分館
3月26日(火)	稲沢・台宿1・台宿2	台宿分館
3月27日(水)	川上1・川上2	笹原地区公民館
3月10日(水)	堀越・小高・西河内	西河内分館
3月13日(土)	水元・八幡・赤坂常世中野・竹之内	常豊地区公民館
3月16日(火)	川上3・川上4・森之根	川上4区集会所
3月18日(木)	伊香	伊香分館
3月20日(土)	植田	高城地区公民館
3月22日(月)	湯岐・木野反・前田	木野反分館
4月24日(水)	真名畑	真名畑分館

令和6年2月から4月にかけて町内20箇所で町政報告会を開催しています。

報告会では、町づくりの各事業や、陳情いただいた内容等について、取組状況をお伝えし、町民の皆さまと意見交換を行います。皆さまのご意見を伺い、町政に反映させるための大切な話し合いの場です。

お住いの各行政区の日程をご確認いただき、ご出席ください。

ご都合のつかない場合は、他の行政区の報告会にご出席いただいても結構です。

問い合わせ先 総務課 総務係
☎43-2111

埴町子育て応援ポイントカード 特典交換の締切間近です

令和5年度の「埴町子育て応援ポイントカード」のポイントが付くのは3月15日(金)までとなっています。また、応援特典の交換は、3月29日(金)が最終日となりますので忘れないように交換をお願いします。

★埴町子育て応援ポイントカード
対象者は小学6年生までのお子さんがいる世帯と妊婦さんがいる世帯です。埴町サービス会加盟店で買い物し、カードを提示すると500円ごとにスタンプが1個貯まります。スタンプを20個貯めると応援特典と交換できます。

■応援特典：埴町サービス会加盟店で利用できる1,000円分の商品券

★3月の応援特典交換日

■日時：1日(金)～29日(金)まで(土日祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分 24日(日) 午前9時～正午

■場所：埴町商工会

※3月29日(金)以降は令和5年度カードの特典交換はできません。

まだカードをお持ちでない方は、埴町役場健康福祉課で申請をお願いします。

■問い合わせ先：健康福祉課 福祉係
☎43-2115

確定申告・納付はお済みですか

令和5年分の所得税等の申告・納付期限は、下記のとおりです。

○所得税及び復興特別所得税・贈与税
→3月15日(金)

○消費税及び地方消費税(個人事業者)
→4月1日(月)

◎振替納税を利用した場合の振替日
令和5年分の所得税等の振替日は、次のとおりです。

○所得税及び復興特別所得
→4月23日(火)

○消費税及び地方消費税(個人事業者)
→4月30日(火)

なお、納付方法や納付期限等の税に関する一般的なご相談やお問い合わせは、国税庁ホームページのチャットボット(時間対応)や確定申告電話相談センターを是非ご利用ください。

■問い合わせ先：確定申告電話相談センター ☎0248-22-7111

※音声案内で「0」番を選択してください。

自衛官採用試験のお知らせ

○幹部候補生(一般・歯科・薬剤科)

■受付：3月1日～4月12日

○医科・歯科幹部

■受付：2月1日～6月6日

○キャリア採用幹部

■受付：3月1日～5月17日

○技術曹

■受付：3月1日～5月17日

○一般曹候補生

■受付：3月1日～5月7日

○自衛官候補生

■受付：年間を通じて実施

○予備自衛官補(一般・技能)

■受付：1月22日～4月11日

■詳細や申込方法：下記、事務所にお問い合わせください。(自衛官募集ホームページからも申し込むことができます)

■問い合わせ先：自衛隊福島地方協力本部
白河地域事務所

☎0248-24-0372

住宅用火災警報器で火元を 早期発見!!

3月に入り温かい日も多くなってきますが、春は火災件数も多い季節でもあります。

住宅用火災警報器は火災により発生する煙や熱をいち早く感知して警報を鳴らします。火災による死因の約半数が「逃げ遅れ」です。住宅用火災警報器を設置することで、少しでも早く火災に気づくことで初期消火や安全な避難が可能になります。

もしも火災が発生してしまったら!!

◇「火事だ」と大声を出して隣近所に知らせてください。

◇119番通報を行う。まず「火事です」と火災の発生を知らせた後、出火場所、火災の内容、逃げ遅れがいるかないか、自分の名前、電話番号を正確に伝えてください。

◇水や消火器を使用して可能でしたら消火してください。消火できる炎の限度は概ね天井の高さまでです。

◇天井まで燃え広がってしまったら消火を諦め、素早く避難してください。

◇避難する方法は、姿勢を低くしてタオルやハンカチなどで口や鼻を覆い、できるだけ早く屋外へ避難してください。

■問い合わせ先：棚倉消防署埴分署
☎43-1219

おくやみ申し上げます

1月16日から2月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
寺内 啓藏 さん	92歳	代官町
藤田 正行 さん	95歳	片貝
安部 豊 さん	96歳	川上
松本 泉 さん	80歳	上石井
緑川 悦子 さん	71歳	真名畑
鈴木日出美 さん	69歳	伊香
齋藤 定子 さん	97歳	台宿
金澤 ヒサ さん	90歳	伊香
笹嶋 英雄 さん	94歳	川上
下重 昇 さん	99歳	川上
鈴木 保 さん	85歳	桜木町
鈴木 馨 さん	64歳	伊香
青戸 幸子 さん	88歳	大町
金澤 傳 さん	84歳	植田
下重スエ子 さん	85歳	竹之内
岡山 二郎 さん	74歳	台宿

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出ください。

埴町小中学校入学祝 給付金を給付しました

令和5年度から、埴町独自の子育て支援の取り組みとして、翌年度に小中学校に入学するお子さんを対象に、入学祝給付金として、一人当たり5万円を給付することとなりました。

今年度は、新小学一年生61人(現在幼稚園の年長のお子さん)、新中学一年生65人(現在小学6年生のお子さん)

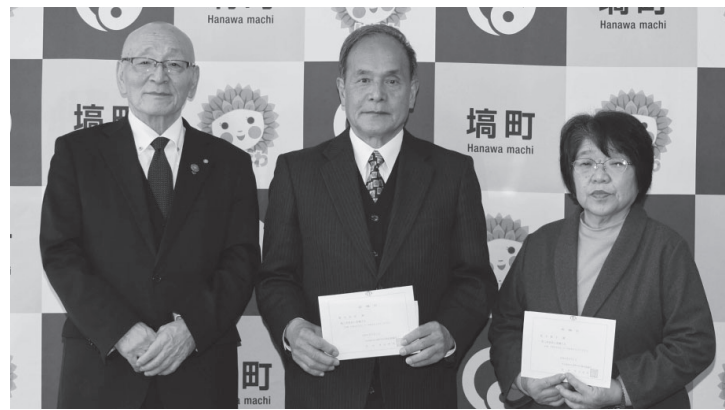
合計126人に、総額630万円を給付しました。

■問い合わせ先：学校教育課
☎43-4050

入札情報



※お知らせの情報は、掲載時刻までの情報です。新型コロナウイルスの影響で開催が変更・延期されることがあります。詳しくは各実施団体にお問い合わせください。



左から宮田町長、藤田さん、鈴木さん

苦情解決第三者委員が再任されました

2月1日(木)、役場応接室で、苦情解決第三者委員の委嘱状交付式が行われ、再任された委員3人に委嘱状が交付されました。苦情解決第三者委員は埴町社会福祉協議会が実施する事業の利用者からの苦情に対して、第三者の中立的な立場で問題解決にむけた助言などを行います。

委員は次の通りです。 藤田和宣・5期目
鈴木敬子・3期目
芳賀澄江・3期目



左から金澤局長、矢内さん、芳賀元昌副審査委員長

年間グランプリ受賞者を称えました

2月10日(土)、役場応接室で、はなわの花・紅葉フォトコンテスト2023年間グランプリを受賞した矢内篤志さんへの表彰式が行われました。金澤祐介埴町観光協会事務局長から矢内さんに賞状と副賞が手渡されました。金澤局長は「矢内さんはすべての部門に応募され、埴町の花や風景の素晴らしさを表現されている。今後もぜひ参加していただきたい」と受賞を称えました。



おはじきで交流する児童と保護者

昔遊びを楽しみました

2月13日(火)、埴小学校で、「昔遊びを楽しむ会」が行われ、1年生と保護者7人が参加しました。児童たちは、けん玉、おはじめ、コマ、めんこ、あやとりの各コーナーを順番に回り、「昔遊び」で交流しました。

はじめて「昔遊び」を体験する児童も多く、保護者に教わりながら、夢中で楽しみました。



九多滝の絶景

まるで水墨画～冬の九多滝～ こだたき

2月14日(水)、大蕨地内にある九多滝(小田滝)の撮影に行ってきました。旧県道の近く的那倉川の峡谷沿いを歩くと、いくつもの滝が連なり、雪景色と相まって幻想的な風景が広がっていました。

案内していただいて鈴木文芳さんによると、年によっては、川や滝がすべて凍るときもあり、それは素晴らしい冬景色になるとのことです。



林剛生(中央)による海外販路セミナー

海外販路拡大にチャレンジする企業を紹介

1月18日(木)、埴町商工会で、海外販路開拓事業実績報告会が行われ、同会員を中心に多くの人々が参加しました。海外販路開拓にチャレンジする事業者の支援を目的に、昨年11月24日にベトナム・ハノイ市内で実施された東白川地区の酒類、農産物、加工品などのテストマーケティング(試飲、試食会)の成果を発表した後、株式会社ふいっしゅいんてりあ代表取締役 林剛生さんによる海外販路セミナーが開催されました。



左から宮田町長、森教諭、永島校長

文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞報告

1月18日(木)、令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した森裕美子教諭が役場を訪れ、宮田町長に受賞を報告しました。応接室で行われた報告会には、秦教育長、永島慶和校長も同席しました。

森教諭は「学習指導」において特に顕著な成果をあげたことが認められての受賞で、表彰式は、1月16日(火)、東京大学本郷キャンパス安田講堂で実施されました。



演奏する「しる・ヴ・ぶれ」の皆さん

おなじみの曲に園児たちも大喜び

1月22日(月)、はなわこども園で、管楽器の奏者3人で構成されるボランティア団体「しる・ヴ・ぶれ」による管楽器演奏会が行われました。

テレビアニメのテーマ曲や童謡など、園児たちが知っているおなじみの曲を中心に選曲されました。

園児たちは曲に合わせて歌ったり盛り上がりたりして、楽しいひとときを過ごしました。



左から宮田町長、鈴木選手、本多選手、秦教育長

東北大会で上位を目指します

1月22日(月)、役場応接室で、「第36回東北高等学校剣道選抜優勝大会」に出場する白河高校剣道部2年の鈴木風雅選手(上渋井)と、本多正宗選手(真名畑)に激励金が手渡されました。

鈴木選手は「大将としてチームを引っ張り、上位を目指したい」、本多選手は「東北大会で試合ができることに感謝している。力を出し切りたい」とあいさつしました。



若い力で、
酪農の未来をつくる



高橋帆乃佳さん(左)
純真さん(右)

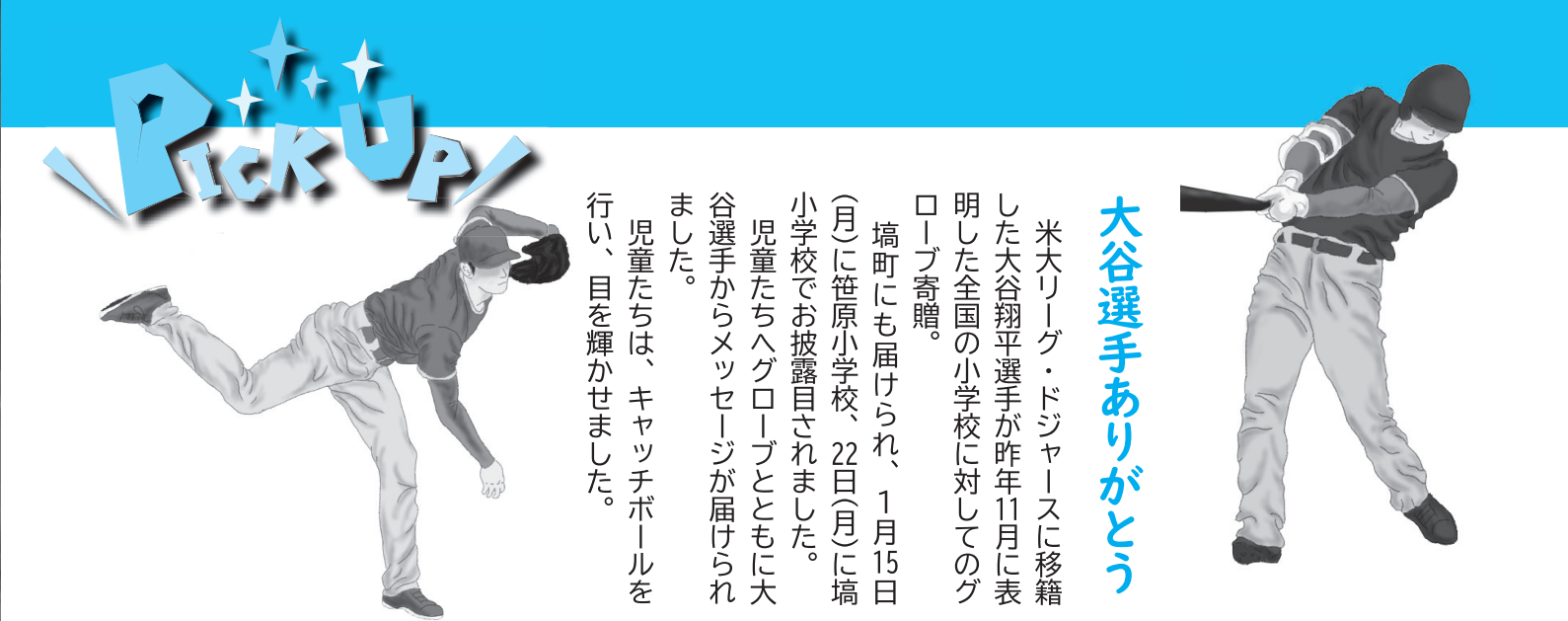
畜産系の大学で出会い、ともに助け合いながら酪農家になる夢をかなえた夫妻が、自然豊かな山あいにある牧場で、仲むつまじく乳牛の飼養に励んでいます。埴町の高橋帆乃佳さん、純真さん夫妻は、2023年11月に埴町に移住し、新規就農した酪農家です。ともに埴玉県出身の28歳。「大学の実習で酪農家さんの働いている姿を見て、いつか自分も酪農家になりたい」と将来を決めた帆乃佳さん。純真さんも「好きな人の夢をかなえてあげたい」が目標になりました。

個人だけの就農には限界があると考えた2人は、酪農就農支援組織である「全酪アカデミー」に入職。酪農についての研さんを積み、紹介された埴町の酪農家・佐藤勝さんの牧場や乳牛を引き継ぐ形で同アカデミーでは第2号となる新規就農を果たしました。現在は乳牛約60頭を飼養しています。「初めて2人だけで搾乳した生乳を出荷したときは緊張したが、これでやっと自分たちの牧場が持てたと考えたことがとてもうれしかった」と高橋さん夫妻。

自酪農の担い手確保を後押しし、新規就農者を育成する一般社団法人全酪アカデミーから2組目の修了生・新規就農者が誕生しました。埴玉県出身の高橋帆乃佳さん、純真さん夫妻が町の牧場を第三者継承の形で11月1日に経営を開始しました。

全酪アカデミー、新規就農第2号が誕生

酪農家になりたい人が現れるような牧場づくりを目指して



大谷選手ありがとう

米大リーグ・ドジャースに移籍した大谷翔平選手が昨年11月に表明した全国の小学校に対してのグローブ寄贈。

埴町にも届けられ、1月15日(月)に笹原小学校、22日(月)に埴小学校でお披露目されました。

児童たちへグローブとともに大谷選手からメッセージが届けられました。

児童たちは、キャッチボールを行い、目を輝かせました。



日本代表から学びました

2月1日(木)、女子400m日本記録保持者で北京オリンピック日本代表の千葉麻美さん(矢吹町出身)を講師に招き、講演会と陸上教室が行われました。

講演会では、千葉さん自身の体験談を踏まえて、挑戦すること、相手の考えを素直に受け止めること、物事をポジティブに考えることの大切さや北京オリンピックの経験を語り、児童たちは熱心に耳を傾けました。講演終了後には陸上教室が行われました。



豆まきを楽しみました

2月2日(金)、はなわこども園で豆まき会が行われました。園児たちは、突然現れた赤鬼、青鬼に驚きながらも、「鬼は外、福は内」と声を出し、みんなで協力しながら、鬼を追い払いました。



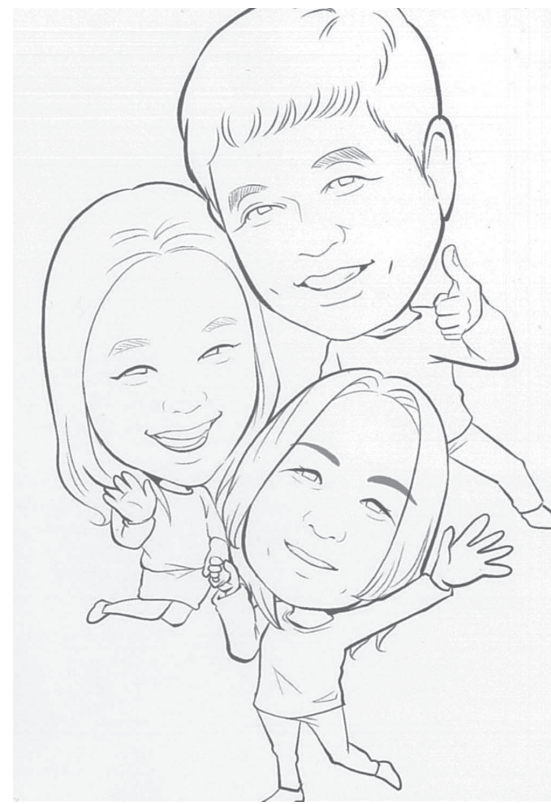
一流選手の走りを披露する千葉さん

随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

ななみや ちよこ
七宮 千代子さん(台宿)

職業	介護士
趣味	音楽鑑賞
好きな言葉	努力
好きな食べ物	寿司
好きなもの	子供の笑顔



ご家族のイラスト

「娘に伝えたい味」

今回、割貝留美さんから随想リレーを引き継ぎました七宮千代子です。今年、年女の娘がいます。小さい頃から料理に興味があり、キッチンにいる私の姿を見るとすぐに「手伝うよ」と腕まくり。最初は、包丁を持つ手、ピーナーの使い方にハラハラ、ドキドキして見ていましたが、最近は安心して見ていられる様になりました。休日には「今日は私が〇〇作るよ」と、はりきってキッチンへ立って来ています。

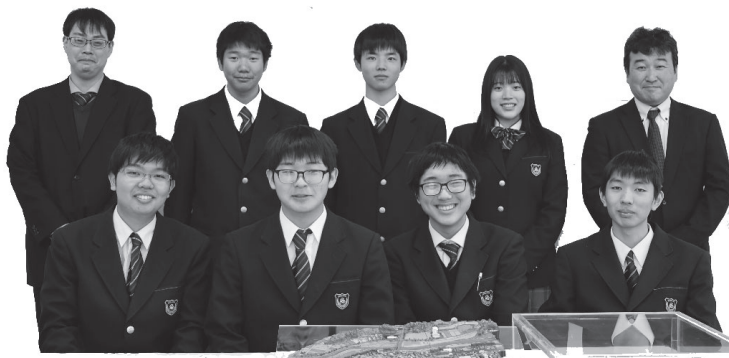
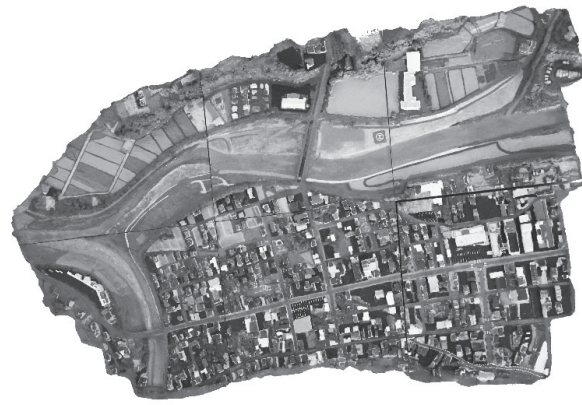
私は実母を亡くし一年が過ぎました。とても料理上手な実母で、その料理が私も娘も大好きでした。中でも一番好きだったのは五目おこわで、あの味が食べたくて自分で作ろうと思いつき、前日からもち米を浸すなど準備をし、チャレンジしてみました。なんとか完成し、初めて作ったその味は…娘が「おばあちゃんの味だよ。おいしい、また作ってね」と笑顔で言ってくれました。小さい頃から食べてきた五目おこわ、全く実母と同じではないが、

少し実母の味に近づけた様な気がしてうれしかったです。

最近、インターネットを使えばなんでも数秒で検索できますが、実母の忘れられない五目おこわのレシピは、どこを検索しても見つかりません。味を覚えている家族で試行錯誤しながら、作って納得できる味にしたいです。

そんな忘れられない味を今度は、私が娘に教えられるよう、これからもたくさんチャレンジしていきたいです。

今回は金澤 陽子さん(植田)です。



電子科3年生7人と担当された先生

埧校舎を後世に伝えたい 埧町の街並みを再現

白河実業高等学校の生徒が、埧校舎と周辺の街並みを再現した3Dモデルを製作しました。完成を記念して同校電子科3年生7人に、製作の経緯や想いを伺いました。

埧町の街並みを再現していますが、どのような経緯で模型を作ることになったのでしょうか。埧工業高等学校と白河実業高等学校が統合し、来年には埧工業高等学校が閉校となってしまいます。そのため、埧校舎を形として後世に残したいと考え3Dモデルの製作をしました。さらに、埧町とも協力し、地域活性化を図りたいと考え、埧町のモデルの製作もさせて頂きました。

製作期間はどれくらいですか。ドローンによる空撮の期間などを含めると約10ヶ月です。その中でも一番時間がかかったのはモデルの着色作業で、埧校舎が約2ヶ月、埧町は約3ヶ月ほどかかりました。

製作する上で、工夫した点や苦労した点があれば教えてください。ドローンによる空撮においては、航空法を遵守して飛ばさなくてはならないため、航空法に関する知識やドローンに関する知識・技術をから学ばなくてははいけません。また、ドローンを飛行させるためには各方面へ正しく許可申請を行わなければならなかったため、その点にも苦労しました。

モデルを着色するうえで工夫した点は道路です。道路は基本的に直線であったため、初めはゆがんでいたものを竹串や定規などを用いて、一定の幅かつ真っ直ぐな直線をひきました。また、苦労した点は、建物や植物がとても小さいため着色するためには何度もその外観を確認し着色を行いました。

完成した作品を見た人たちからのお言葉などで特に印象に残ったことを教えてください。「非常に細かく再現されている」と言っていたとき、長い間製作に向き合った甲斐がありました。

製作した経験を、今後、どのように生かしていきたいですか。課題研究を行っていくうえでドローンや3Dモデルに対する知識や技術など様々なことを学ぶことができました。また、仲間と協力し1つのものを製作することの楽しさや達成感を実感することができました。今後、社会に出ていく中で一人でもやりきるには限界があると思います。その時にはこの経験を生かし、多くの人と支えあっていきたいと思っています。

今回3Dモデルを製作し、ドローンの知識や3Dモデル製作の手順などについて学ぶことができました。また、仲間と協力し1つのものを製作することの楽しさや達成感を実感することができました。今後、社会に出ていく中で一人でもやりきるには限界があると思います。その時にはこの経験を生かし、多くの人と支えあっていきたいと思っています。

ありがとうございます
ごじます

町の振興や福祉の向上のために

1月18日(木)に、寺内二昌(上渋井)さんが役場を訪れ、「町の振興や福祉の向上のために」と、町に30万円、社会福祉協議会に20万円、計50万円を寄贈しました。

宮田町長は「温かい志、町への支援に感謝します。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



左から宮田町長、寺内さん

第29回 はなわ ハガキ漫画グランプリ

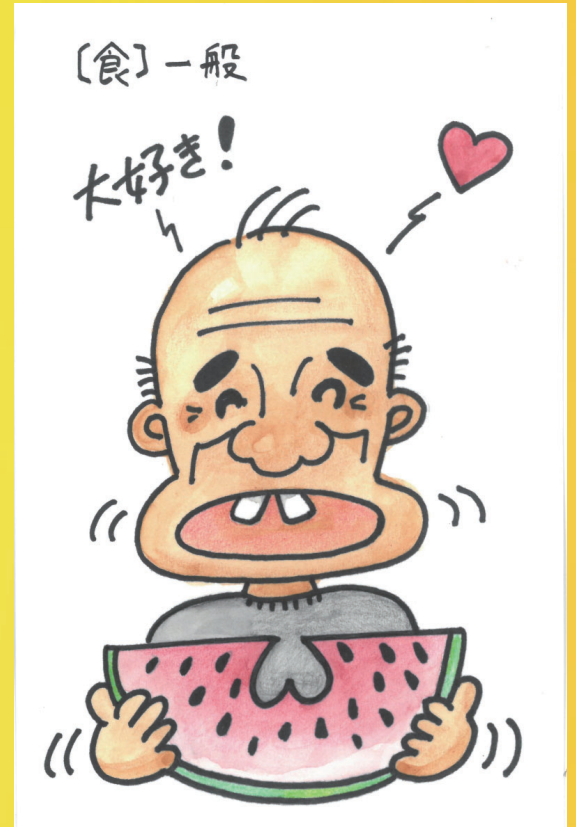
日本一小さい! 福島県 塙町

大賞に奈良部茂雄さん

第29回はなわハガキ漫画グランプリ審査会が2月8日(木)に、防災センターで行われ、大賞に奈良部茂雄さん(東京都)の作品「大好き!」が選ばれました。今回のテーマは「食」。

4歳から93歳までの630人の皆さんから765作品を応募いただきました。

審査会では、審査委員長の和田恵秀さん、副審査委員長の一ノ瀬善正さんを中心に後援団体の代表による審査が行われ、大賞1点優



「大好き!」 奈良部茂雄さん



「いただきます!」 池田マコトさん



「食物連鎖」 白石結莉さん

休日の当番医

3月3日(日)	あまちクリニック ☎33-8018	3月10日(日)	つちやクリニック ☎43-2250
3月17日(日)	東館診療所 ☎46-2312	3月20日(水・祝)	和田医院 ☎33-2012
3月24日(日)	大木医院 ☎33-2424	3月31日(日)	深谷クリニック ☎33-3223

■町の人口 7,963人(2月1日現在)
男性3,950人(-11名) 世帯数3,290(-2)
女性4,013人(-5名) ※()内は前月比
※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

■今月の納税など
上下水道料金 3月分
納期限 4月2日(月)
■口座振替日は3月25日(月)です

塙町のSNS



塙町フェイスブック



塙町ツイッター



塙町インスタグラム



塙町ホームページ

今回からLINEが追加になります。



LINE



編集後記

先日、いわき市に行く用事があり、塙町から鮫川村を経由し、目的地まで車を走らせました。ここ数年、国土交通省のモデルルートに認定された郡内を周遊するサイクリングコース「奥久慈街道」周辺の道路が整備され、とても走りやすくなりました。また、看板や標識にも「奥久慈街道」の表示が追加されました。地域が新しくなっていくことを感じ、とても有難く感じました。自転車活用推進がスタートした6年前、まさかここまで地域が変わっていったとは思像もできません。塙町はじめ東白川郡の地形が自転車活用推進に適していたことはもちろんのこと、地域住民の皆さんのご理解、携わった皆さんの尽力があったからこそ実現できたと思います。

令和6年度からは、JR東日本と連携し、水郡線の活性化に向けた取り組みも本格的にスタートします。久慈川サイクリングロードと水郡線が並走する環境は、全国にも恵まれています。新しい水郡線の形が生まれることを楽しみにしています。

(わらいな)